



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151 (747539)

担当者の所属・氏名：呼吸器外科・熊谷 遼介

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器外科 小島 史嗣

当院にて呼吸器外科手術を受けられた方を対象とした

術後鎮痛効果に関する研究

1.研究の対象

2023年4月～2024年3月に当院で呼吸器外科手術(胸腔鏡下またはロボット支援胸腔鏡下手術)を受けられた方

2.研究の目的・方法

- ・現在、当科では最適と考える術後鎮痛法をおこなっていますが、疼痛を強く感じる患者さんが一定数いらっしゃり、問題となっています。
今回手術中にパルス高周波療法(下記に詳細を記載)を行うことで、より痛みを感じないで術後を過ごすことができると考えております。
今回の研究の目的は、手術中にパルス高周波療法を用いてより最適な術後の鎮痛方法を見つけることです。その比較として、過去1年間に当院で手術を受けられた方々のデータを用います。
なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

・調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年6月3日を予定しております。

パルス高周波療法について

パルス高周波療法は、主に慢性肩関節痛や帯状疱疹後神経痛(PHN)などの慢性疼痛に対し、短期から長期(1週間から3か月)の有用性と安全性が示されている治療法です。

パルス高周波療法では、高周波の電流を針先に短時間(20ms)で間欠的に加え、痛みを軽減することができます。ユニークな点は、高周波凝固法と違い、針先の温度は42度までに抑えられているので、熱的損傷は最小限であり、神経破壊に伴う合併症の頻度が減少します。また鎮痛薬を使用しないので、薬剤によるアレルギーや副作用はありません。

この治療を手術中に行うことで、現在より術後の疼痛が抑えられる可能性があります。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・主なデータ項目は以下となります。

対象者背景：カルテID、イニシャル、性別、年齢、身長、体重、既往歴等

一般検査：血液検査(WBC、RBC、分画)、血液生化学検査(TP、Alb、T-Bil、AST、ALT、BUN、Cre、ALP、 γ -GTP、Hb)、尿検査(蛋白、糖)等

有効性に関する項目：NRS聴取、アンケート(EQ-5D-5Lを用いた短期QOL)等

安全性に関する項目：副作用の症状聴取(肋間神経痛、嘔気、嘔吐、運動感覚麻痺)等